



3年生の社会の授業で

野区では、啓明小学校、第...

成果をあげる ティーチング アシスタント

子どもたち一人ひとりに 応じたきめ細かな指導を行...

様々な食生活から見て 工夫される授業

区立学校は、多くの人たちの協力によって支えられ...

また、各学校においては、 教師が授業のどの場面で...

ティーチングアシスタントの日記から

- 私は何気なく採点をしていたが、子どもたちは 『先生のまるは好き』とか『花まるを書いているから嬉しいな』など予想外の反応をしてくれる。
子どもがすねてしまい授業に参加しなかった場面や、問題を解くことができずに泣いてしまった場面に出会った。私は正直何もできなかった。こんなときどうやったら、子どもたちが立ち直り、心からやる気を起こし、再び、授業に参加するようになるのだろうか?
「パソコンに関しては、キーボードを指一本でたたくような子から、私より詳しい子まで、技術に差がある。私自身ももっと、パソコンのことを学んでおこうと思う。」
楽しい授業をしたいというのが理想だった。現実はおしゃべりが楽しい授業になってしまったこともあった。授業をする難しさを感じた。」

十一中学校、北中野中学校が、実施モデル校として取り組んでいます。各学校には、三、四名のティーチングアシスタントが交代で勤務しており、子どもたちからは、年齢が近いので、「勉強が難しいところを、質問がしやすい。一緒に遊んでくれるので楽しい。」などの声が聞かれ、確かな成果をあげています。

今後とも、子どもたち一人ひとりに確かな学力を身につけていくため、ティーチングアシスタントをはじめ、様々な事業を展開していきます。
【問合せ】学校教育課
TEL 33228051 510809
FAX 33228051 510802

学習支援 ボランティアも活躍

第一中学校では昨年度から学習支援ボランティアとして大学生を受け入れています。教員から希望のあった教科について、大学に学生の推薦をお願いする形で、今年度は数学二名、家庭科一名が授業の補助として活躍しています。



子どもとともに成長する

また、参加しているのは教員を志望する学生なので、ボランティアを通じて将来について考えることができるという、学生にとってのメリットもあります。学生同士で教育について語り合うこともでき、「学校に来るのが楽しい」「ボランティアの立場だから見えるものがある」といった声が聞かれます。
今後は別の教科での受け入れも検討されており、より一層の成果を上げていくことでしょう。

文部科学省指定エイズ教育(性教育)推進地域として

～7月に実態調査を実施しました～

「食育」を通じて 子どもの健康を考える

谷戸小学校の取り組みから

社会環境の変化の中で

近年、子どもたちの食生活を取り巻く社会環境が大きく変化してきました。食行動の多様化が進む中で、朝食抜きや、食の軽視による簡略化、脂肪の過剰摂取など「偏った栄養摂取」「肥満傾向の増加」「生活習...



生活習慣病の予防をめざすヘルシー体操

慣病の低年齢化」等、食に関する健康問題が引き起こされています。ここでは谷戸小学校の取り組みを紹介し、食のあり方について考えてみましょう。

家庭で、学校で

食べることは、健康に生きるための基本の一つである。食育の観点から、家庭と学校で...

中野区は、平成十四年度から文部科学省指定エイズ教育(性教育)推進地域として、エイズ教育(性教育)にかかわる研究に取り組み始めました。
【問合せ】学校教育課 TEL 33228051 510809 FAX 33228051 510802

エイズに対する正しい理解を

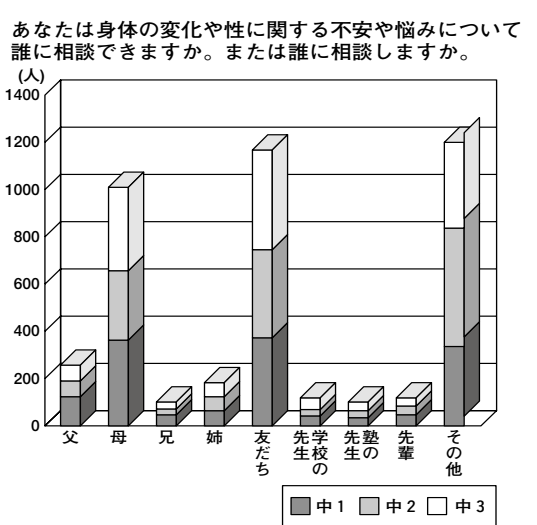
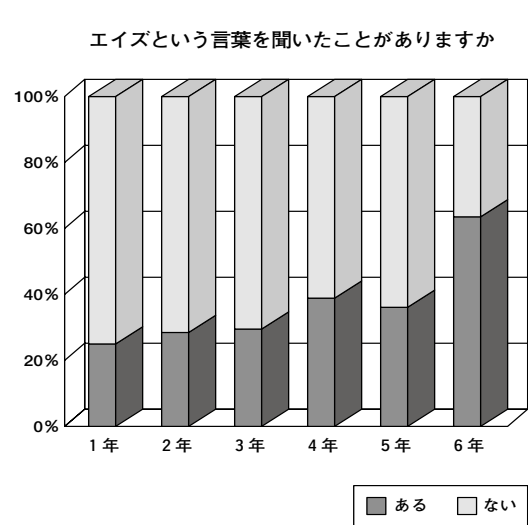
最近、性の商品化・性行動の低年齢化が社会問題化しています。中でも青少年の性感染症の増加がマスコミにも取り上げられ重大な問題になっています。こうした背景には、興味本位の性行動があるものと考えられ、HIV感染の拡大も懸念されています。

●研究内容

- ①児童生徒等の実態を把握し、小・中・高校生の発達を考えた系統的な指導計画を作成する。
②学校、保護者、地域社会、保健所、学校医師会等の関係諸機関と連携した指導方法を探る。

●実態調査

本年の七月に区立小中学校の児童・生徒、都立富士高生徒及びその保護者、教員を対象として調査を実施しました。下記のグラフは、その一部を抜粋したものです。
今後さらに検討を進め、指導に役立てていきます。



小学校6年生になると、エイズという言葉を知ったことのある児童の割合が増えています。不安や悩みは友だちや母親に相談することが多いようです。

積み重ねが、子どもの「心」の荒廃を食い止める方法の一つと言われています。給食の時間も、同じように大切に考えています。
谷戸小学校では、お花見給食から始まり、青鬼給食、セレクト給食、リクエスト給食、クラス別バイキング給食等、楽しい給食の他に、給食試食会や、児童の祖父母と地域の高齢者の方々を招待する「ふれあい給食」もあります。「夏休み親子クッキング」も好評で、今年度は七十六名の親子が、二日間にわたり熱心に五品の料理に挑戦しました。今年度はじめて四名の父親の参加があります。
【問合せ】学校教育課
TEL 33228051 510809
FAX 33228051 510800

生きる力としての食育

これからの学校給食は、教育全般を通して、「食育」生きる力を体得させ、子どもたちの食体験が豊かになるよう、学校・家庭・地域と連携していくことが、ますます重要になってきます。